



越後名寄
戴

ル 4
1683
2



ル呂4
種1683
卷2

越後名寄卷第二目錄

山

頸城郡

上路山

駒嶽

火打山

力十山

刈羽郡

八石山

黒姫

魚沼郡

卷機山

戸嶽

金龍山

駒嶽

燒山

妙光山

権現山

米山

越後高關
澀谷翼疑
園番書記



牛嶽

白峯

八海山

古志郡

諏門嶽

蒲原郡

栗生嶽

白山嶽

三生子嶽

國上山

石瀨山

角田山

磐船郡

海府山

臼カ森林

五頭山

立石山

弥彦山

越後名所(卷之十一)目録

越後名所(卷之十一)目録



川

頸城郡

根川

青海川

田海川

布川

古川

姫川

股川

大和川

早川

荒川

保倉川

近江川

鶴川

悪田川

朝日川

三島郡

島崎川

宮本川

魚沼郡

清津川

赤澤

中津

大野川

サナシ

アフルマ

田代川

信濃川

魚沼古志
三島蒲原

蒲原郡

大口川

刈矢田川

貝喰川

五十嵐川

天神川

加茂川

五社川

能生代川

西川

矢川

中之川

阿賀川

小阿賀

早出川

加地川

姫田川

磐船郡

乙川

荒川

アイカ

新保

野村川 大川



越後名寄巻第四

越後国寺泊

丸山元純良陳輯

山部

廣雅云山産之

能産萬物也

上路山

頸城郡

當国ノ邊郡北陸道ノ驛市振村ノ並ニ玉ノ木

之ル里在越後越中ノ城坂川ノ端ナリ此里ノ

傍ヨリ道在凡東南一里計ニ山アリ山足ニ

上路ト云ル村アリ

○申傳ニ昔者此山ニ野女棲テ山谷ヲ上下シ

間村里ニ出テ人記シケルトカヤ亦謡ニ作リシ

モ此所ノ事也ト云リ

○本草綱目野女日南國在之裸形如若一
媪有光無牡自腰已下有皮蓋膝割腰得
印方寸蚕若蒼玉

駒嶽

系魚川ヨリ三里山奥今井谷ト云処ニ今井
ト云里在此ヨリ猶二里半計南ニ駒嶽有
山ノ洞ニ駒ノ形有俚
今ニ形狀アキラカナリ山ハ信越ノ塚ニ有

越後ノ地ナリ又魚沼郡ニ同名ノ山有

燒山

系魚川ヨリ四里半東南總号早川谷ト
之処有其内ニ土塩村ト云里在此ヨリ猶一
里半計奥ニ燒山有絶頂ニ八九尺許ニ底
シレタ穴在テ往首ヨリ不絶洞立上ナリ
系魚川領ナリ

權現山

能生ノ駅ヲ過テ程ナク磯ニ在山ノ巖岩ノ
ククメル如キ山ニテ大石ノ上ニ夫木生茂リノ
ナレバ風情ノ何カ権現ノ誓言ニナト、里俗
ノ申侍ル古昔能列石動山ヨリ白山権現ヲ
此所ニ勸請後能生ノ駅ニ移シ奉ル
難波山

高田ヨリ南西ニ當リ小山ノ

ヒウチ山

高田ノ城下ヨリ南ニ在小山也

カンナ山

ヒウチ山ニ迫シ燒山ノ並ニ

燒山

妙光山ノ別峰ニテ北ノ並ニ絶頂常ニ燒上リ
空快晴ナル時ニ八烟ノ起上ル気色ヨシ信列
浅間山ニ同ク硫黄ノ気ニテ燒ルニ仍硫黄
多出テ諸方ヘ寄又取ノ俗ニ今テ地獄ト云

妙光山

信列壇也高山ニテ雪ノ降事早シ峯ニ
阿弥陀堂在木曾義仲ノ守佛ト云リ佛

閣ノ下ニ書出。麓ノ関ノ山駅ヨリ温泉へ
三里湯本ヨリ峯近五里ナリ三里上リテ
富士山見ユル又絶頂ニ到越中ノ立山加賀ノ
白山見ユル

米山

鉢崎ト鯨波ノ岨ノ間ニ有西北ノ山足ハ海ニ
東北鯨皮ノ方ハ少シ川羽郡ノ頂ニ薬師
堂有山ニ當取生上品也

川羽郡

八石山

北條村ノ東也此山ノ草木ハ色別シテ青ク
外トハ格別ニ美シキ由風土記ニ有山中不動
滝屏風滝有飛泉ノ巖ニ雁鳥鷲ノ巢在
。上古此山ニ大豆ヲ植侍リシニ其根系茂シ大
樹ノ如ク成テ実多ク結ヒ侍リシニ或日大風
枝ヲ吹折テハルカニ飛行シニ大豆ヲ落シ見
ル処子八石在シ故ニ山ノ名トセシトカヤ。麓ニ
遊行派ノ専秋寺ト云ル寺ノ虹梁ニ大豆

楷^{カラ}ラセシ由申傳ヘリ定テ彼柄ヲセシナル
ヘシ迎曾寺焼矢シ之替レリ

黒姫山

米山ノ東南ノ並也八石山又迎シ猿多棲テ
群遊フ上條谷ノ奥ニ藤天蓼多清水在

魚沼郡

巻機山

信列ニ迎シ

鷹嶽

此山信列ニ迎シ高山也

牛嶽

此モ同邊リ高山ナリ

八海山

高山南信列上列^野ニ迎ク雪早ク降頂権現
ノ万羊堂在石ニテ小ニ作りタル社ヲ
俗ニ万羊堂ト云往昔銀ノ出
シ事モ有レニヤ

金龍山

八蓋山下駒嶽ノ間猶南ノ方ニ在高山ナリ

駒嶽

南ノ方信列ニ近ク東ハ上野ニ隣リ尤雪早
降國中第一ノ高山ニテ寒凜烈ク半腹ヨリ
上古昔ヨリ登ル人ナシ熊猪ノ猛獸トイヘ
トモ寒ニ不堪シテ栖事ナシ。昔日中將
光長君絶頂ニ何カ有ト命セラレシニ人
倫不通不存由ラ申上ル時ニ遠眼鏡ヲ以
テ賢覧有テ只笹ノこ生タル由ラホセラ
レシトシ

白峯銀山

駒嶽ノ並ニテ其間中凡五里大湯村ヨリ

八里八町人跡ナシ越奥ノ域ニシテ何国ノ山ト
云事ナカリシニ温泉谷中折立村ノ源藏
ト云者彼山奥阿賀ノ川ハ沢鱒ト云ル魚ヲ
捕ニ行テ初テ見出し山先ト成然ル処ニ
會津領ノ只見村ト出入トナリシニ高田表
ヨリ湯ノ谷ノ中芋川村ノ名主倉君之助ヲ
江戸表へ上セラレシニ山ハ會津ノ地支配ハ
越後ト被 仰付依之運上役トシテ只見
村ノ庄屋本へ金子壹分宛其節ヨリ
今ニ到テ年々上納ス仍湯ノ谷ノ者共

心任セニ枝木等伐出ス銀山松卜称シテ
浮木ノ節ナシノ良材也
四十余年以來銀不出其節町場本大湯村
立シ制札文言

奥乃初白峯越後上田西銀山ヨリ花降浪并
銀不持心其後留歩法度、あやま志ま
主獲物ノ内を改及遠候、も押至証を
在庫一葉一盗出シ賣買仕長より見此のし
後置後日お知、た穿鑿之と上商人もふな中
手取各名主の心証を急度、のり出する、老心

元禄七年七月

依田五之助

越後上田銀山より花降浪并新に候事、ふな中
銀山建出、後留歩法度、系怪ある事、も
岩物お取、も是、候、も押至、可、致、注、を、葉一
盗出、者、見、乃、し、上、被、後、日、り、お、知、心、を、穿
鑿、之、と、上、商人、も、ふ、な、中、乃、其、心、証、を、急、度、
手、取、各、名、主、の、心、証、を、急、度、の、り、出、す、る、老、心

宝永二年戊戌月

依田五之助

白峰ノ銀山當國ナラ子共右ノ訣ニテ今以テ當
國ノ支配故ニ書載セ侍ル又制札ノ文言越
後上田ノ銀山ト在テ見レハ白峰トハ別ナリ何
レノ山ヨリ出ケルソヤ

古志郡

諏門嶽

當國一二高山也。青雲嶽。青海嶽。守門
山トテ三ノ峯在古キ書ニハ築守ノ峯トモ
在。宗祇自筆ニテ此と云ハるノ山乃 雪の
ゆふくれと有テ上ノ句ハ紙破レテナシ惜キ

事也當國行脚留滯二年ノ間ノ詠十九へ
シ。折節人ノ往登事モ有ケレト容易ニ
非ス雪早降。又山ノ北半腹ヨリ下ニ芦カ
平ト云処ノ奥林ノ中山間ニ池在此ニ白田
螺ト号ル者在異物ノ所ニ書出。又芦カ平
ヨリ一里計山奥ニ硫黄山有其近クニ温泉ノ
涌出ル有甚熱シ功驗有ヘシ哉ニクキ者ク
。黄連有又凡此山ノ麓ノ里々多クノ産

粟嶽

蒲原郡

諏門ヨリ北ニ在テ高山也東ハ奥ノ域近

藥品多ク有林麓ノ村里数々産多シ

白山嶽

栗嶽ノ並ニテ少シ峰低シ此山ノ北ヲシハ
ツレヨリ奥ノ山見ユル九月下旬ノ頃ニ雪
白越後路勝レテ早シ

五頭山

出湯村ノ華報寺ノ後ノ山ツキニテ別山
号トセリ此山ノ中ニ菱嶽ト云処在雨ヲ祈ル
池在新發田城下ヨリ四里余南東ニ當リテ
奥列ノ山ツキ也

立石山

五頭山ノ並ニ此山ノ石大小ニカキラス悉ク皆
立テアリ故ニ山ノ名トセリ虚空藏堂有別
當修驗ノ保田ヨリ二十四五町在

二之王子嶽

加地ノ後近有

右駒嶽ヨリ是近ノ山々皆国ノ東ニ

国上山

万葉集ニ久賀躬ト書リ越山ト云ヘルハ
此山之源順カ白藤峯ト書シモ此山也姿

気色比ヒナク異山トハ格別也半腹ニ因上
寺ト云ヘル真言地有少シ隔テ北ニ弥彦山
有此間ニ猿カ馬場ト号スル北国街道ノ
山坡有

弥彦山

伊夜彦伊夜日子共ニ同シ歌枕也元来
三劔山ト云ヘリ二十余町上リテ頂ニ神廟ト
テ石ノ小社在此ヨリ因中ノ眺望最ヨシ東
面ニシテ大老ノ松樹生茂リ麓ノ尾上ニ
一宮伊夜日子大明神鎮座也里ノ名モ

弥彦ト云神領ノ農家ニテ北陸道ノ駅也
杉ノ名物良材有藥種品々有又南西方
ニ槐讓葉ノ名モシ等其外雜木繁茂セ
リ年々山下ノ村里ニテ伐取故ニ柴トナリテ
大木ナシ北ノ方ハ石瀨山西ノ下ハ海渚也野
積村ヨリ間瀨浦へ往来スル礪山ノ巔ヲ行
大鳥越小鳥越ト云難所也

石瀨山

又多室山ト云弥彦山ノ北ニ並テ峰ツキニ
柴木茂リ藥在

角田山

多宝ノ北ニ並テ其間少シテ隔レリ峰長ク
二重也前ノ山ヲ片半ト云サノニ高カラズ頂
長者カ原在藥草有。東ノ森フモトニ稍島ト
云北陸道ノ驛有此地ヨリ山奥へ上リテ岩漕イハカウ
休ト云所ニ福壽草キアラ乾又元日在。又五荷濱ヨリ
角田浦へ磯山ヲ往間ニ大鳥越小鳥越ト称
スル切处在

右之四山ハ中越後ニテ西北ノ方ハ海ニヒタリ
團上山ヨリ谷名ヲ並ヘタリ

海府山

磐石船郡

北ノ一方海端へサシ出タル大山也後ハ奥羽ノ山
ツキケリ洋ニ里々多ク在テ漁人樵夫塩
焼ノ類ノ往居也海辺ヲ外海府ト云其洋ノ
中馬ウマ下村新保浦へ越ル処ヲ大鳥越小鳥越
ト云行程一里ノ山坡不通難所也馬上ノ
達者義経サへ乗又馬ヲ卸シテ此ヨ
リ引返シ内海府ヲ通りタマフト申傳

白カ森林

サノニ高山ナラ子ト目立タル故書

川

頊城郡

堰川

堰川ニテ川ヲ越レハ越中國ノ船ニテ渡ル流
早ク矢ヲ突ク海近ク山モ又不遠名所
ノ部ニ出タリ水上ハ蓮華山ヨリ来ル常サヘ
洪水ノ時ニ甚危シ容易ニスヘカラス河近
クニ至ル村在程近ク御関所在市振ノ
駅也市振ノ駅ハ北陸道街ニテ居多ノ濱
近九十宿余南ハ山北ハ海岸ノ浦洋ニテ

青海川

行程十五六里間ヲ總号山ノ下ト云

宇田村ト青海川村ノ間ニ有步行涉

田海川

青海村ト田海村ノ中間ニテ涉河カキワタリ

布川

田海村ト須沢村トノ間ニ在此近郷ヲ沼川ノ
庄トハ仍之ト云

和名抄ニ越後國頸城郡沼川加波

古川

須沢ト寺島村ノ間ニ在カテ涉リ大河也
昔日姫川ハ寺島ノ上ヲ流レシニ寛保二年
戌秋大水ニテ寺島近辺ノ田畑委押崩シ姫
川ノ水筋寺島一屋ノ下へ通シテ大河ト成
時ニ糸魚川ノ領主勞役シ如元堤ヲ修シ往
還ノ便リ能カリシニ延享四年卯ノ秋又
洪水ニテ其功ヲ虚ス古へ流シニ趾故ニ姫

川ノ古川ト云ヘリ

姫川

寺島一屋ヲ過テ姫川有舟渡之山近海近ク
流速ク箭ヲ突斗之山下ニテ三ノ難所
トス最大事ニ思フヘシ川上十七里余飯田村
池原村ト云奥山里在此所ニ名也川松川平川
トテ三川流レ合テ姫川ト成三川ノ水上ハ姫
力嶽ヨリ出ル故ニ姫川ト云

マタ川

姫川ヲ渡リテ程モナシ糸魚川へ近シ小川

大和川

糸魚川梶屋敷兩駅ノ間ニ有河原廣洪水ノ節大事也又押上川共之ルカ

早川

梶屋敷ト能生駅トノ間ニ大水ニ外ニ廻リ道在又川上早川谷ノ中井出村ニ辨財天

並有此地ノ巖山削リ立名カ如ク奇池有

荒川

上ニテ関川ト云水上ハ飛彈塚ヨリ出妙光山戸隠山ノ間溪信越ノ塚ヲ流レ関川関所ノ前ヲ過荒井ノ駅ヨリ東ヲ周リサテ澁井川屋代川ナト流レ入テ一ツニ成高田郭ノ後ヲ行此當リヨリ荒川ト云リ末ハ直江今所ノ港ナリ高田入口ニ橋在今所ト春日新田ノ駅ノ間ハ舟渡シ也

澁井川ハカンナ山火ウケ山ノ間ヨリ出ル屋
代川ハ難波山ヨリ流レ出

保倉川

水上ハ米山ノ南邊ヨリ流レ出末ハ春日新田
ノ駅ト福島ノ古城ノ間ヲ流レ荒川ノ港ニ
落ル街道筋ニ八九奈井村ニ橋在黒井ノ
橋ト云

近江川

米山ノ中ヨリ流来リ磯海ハタラ涉最小川
ナレトモ出水ノ時ニ甚危シ恒ニ假令橋
有鯨波ノ駅ニ近シ

川羽郡

鶴川

水上ハ里姫山ノ腰上条谷ヲ流レ出テ栢崎ノ
駅ノ後ヲ過テ海ニ入栢崎ノ入口橋在。
此川水日久駐置テ不変
。川上条々古井ニ大堰在多村里水田ニ用

惡田川

水上八里姫山ノ後ノ山足鯖石谷ヨリ流出
テ柏崎ト荒濱ノ駅トノ中間ニ春日ト云
村ノ前ニテ船渡レ也海際故荒テ風波ハ
ケシケレテ此所渡リカ子ケレハ是ヨリ
一里斗川上ハシト云ル処ニテ渡ル是迄
惡田川ト云此ヨリ上ヲ鯖石川ト云。考
良陳佐橋ノ庄ノ事ヲ云ニヤ。藤井村ニ
大堰有テ諸方村里水田ニ用右堰川ヨリ
是迄ノ川々皆街道往還也

朝日川

水上八里姫山ノ東ノ下ヨリ流レ出テシブミ
川ト云夫ヨリ末朝日村ノ前ヲ流レテ
朝日川ト称ス歩行涉リ也洪水ノ日ニハ
難事トス末ハ鳥園村辺ニテ信濃川
入。飯塚ニ大堰有

三島郡

島崎川

水上小木ノ古城邊ヨリ出テ末ハ蒲原郡

真木刀花村ノ北ニテ西川ニ入小川ニテ町々
村里ニ橋有此川水餘多ノ田地ニ堰入テ
耕作ノ用トナル

宮本川

宮本村ヨリ流れ出末ハ二流ニ別レテ黒川
ト称シケンカイト云當リニテ信濃川ニ入
一北^キへ流れ與板之前ニテ掘替リテ荒川
ト云末ハ原村ニテ信濃川ニ入此流れ上ノ村
里ハ橋在下ハ舟渡也。七日市ニ堰有也

村ノ用水也

魚沼郡

清津川

當國南巢信列上列ノ域ノ奥山ノ水ニ役ノ
流れ出猶下柳沢^{ヤナギ}へ落テ清津川ト云ヘリ夫ヨ
リ又山間ヲ曆テ信濃國へ流れ出テ筑麻川
入

赤沢

水上八同當り奥山ヨリ流レ出ル谷川之末ハ
清津川ト云

中津川

是モ同シワタリアキ山ヨリ出テ末ハ清津
川ト三成

大野川

オホノ
(魚沼川)

水上八湯沢ヨリ二里傍土樽村ヨリ出サテ小
川共落合六日町駅ヨリ船ヲ乗浦佐小出

川島堀ノ内ヲ登川口ノ駅ニテ信濃河ト合テ
小千谷長園ヲ過新湊ノ港ニ到其間ノ船路
凡三十八里

サナシ川

駒嶽ノ山足大明神ト云ヘル山ノ邊ヨリ流レ
出テ初尾役大湯村ナト過テ小出島ノ近ク
西南當リニテ大野川ニ入サナシハ此邊ニ在村
名ニ大明神ハ大湯村ヨリ三里奥ニ

阿布留麻 (破用)

諏門嶽ノ腰南ヲ流シテ小出島ノ並四日町
下倉古城ノ間ニ流レ出テ大野川ニ入三月
諏門雪消ノ時節洪水在

田代川

下島村ト堀内駅ノ合ニ流ル、步行涉也
出水ニハ六藏 ヒツカシ

信濃川

國中ヲ流ル、大河也坂東ヲ利根川山列ノ淀
川ニモ信々セリ凡水上ハ信列ノ筑摩川
犀川也筑摩ハ甲列境犀川ハ飛驒ノ国
ヨリ出テ川中島ヲ過松代ノ城下ヨリ四里下
福島ト長沼村ノ中間ニテ落合前ニ出シ清
津川等モ一ニ成飯山ヲ過テ越後魚沼郡
ニ未妻在ノ郷内ヲ流レ川口ノ駅ニテ大野
川ト合シテ大水ト成。妻有郷山屋村ノ辺
ヨリ山奥途程八里ノ間ヲ川中ニ二十七滝在
中ニモソタキト云ヘルハ難処也依之信列一舟ノ

通シナシ近曾打ツキ度々洪水シテ飛泉
々々高キ巖ハ欠落テ平ラカニ深キ淵ハ
埋レテ浅瀬ト成ソタキノ外ハ扁舟筏ノ類
ハ通路モスル事ニヤ。○大野川ヲ舟ニテ下
ル間処々ニ難支トスル場多シ中ニモ此
川口ノ川合ヲ第一トス風有時洪水ノ折
節必ス乗ヘカラス身ヲ慎ム人乗マシキ
事也川合ノ神社此岨ニ鎮座サテ左右
ノ川々次第ニ落合流入テ魚沼古志三島
蒲原四郡ノ中ヲ過新浮ノ湊ニ到リ凡

水面一里余運送ノ自由專一ノ河也鮭ノ名
産在

蒲原郡

大口川

東山ヨリ出ル椿沢村榎橋村ヲ歴テ大
口村ノ傍ヲ過ル舟渡シ在末ハ大保村ト
品木村ノ間ニテ信濃河ニ入

川矢田川

小川通共又今町川トモ云水上ハ諏門嶽ヨリ

出テ古志郡^{トチノハ}杓尾村ノ後ヲ過テ蒲原郡
出雲田庄今町村ト中ノ島村ノ中間ヲ流ル
故川ノ名ト称ス此當リ近小舟ノ往来有。
此辺ヨリ作り出ス麻宇ヲ小川^ト称シテ
越後麻宇ノ名物トスル也又小川大豆モ名
物ナリ。○今町村ヨリ拾町^ト川上ニ
テ每五月近郷水田ノ用ニ水面凡二十間余
ノ処左右ノ岸ヨリ土俵ヲ入テ敷二十間堤
高サ五丈余上ノ歩ミ五間ニ積上ルサシモ
早キ流レヲ暫時ノ間ニ筑止ルカ、ル堰ハ

国ノ中ニ稀也。流ノ末ハ尾崎村ノ辺リ五十
嵐川ヨリ南ニテ信濃ニ入

貝喰川

東高山ノ前山ヨリ出ル取々村里ニテ川
ノ面ニ細ラ張渡シ繰舟ニテ往来ス末ハ
尾崎村ト五十嵐川ノ間ニテ信濃川ニ入

五十嵐川

水上ハ栗嶽ノ麓下田ノ中ヨリ流レ出末ハ

五十嵐當リヲ登テ三條ノ里ノ南傍ヲ流
レテ信濃川ニ入年魚ノ名物在

天神川

水トハ賀茂山ヨリ出テ五十嵐川ト賀茂川
ノ間ヲ流レ天神村ニ到リテ大ナル水門在
迎村之合ノ樋也信濃川ニ入

賀茂川

水上ハ賀茂ノ奥七谷ト云ヘル村里ヨリ流レ

出テ三條ヨリ三里下ニテ信濃河入

五社川

江川村ヨリ流ル小川ノ水上ハ五社明神
マシマス故ノ色也一里許流レテ水田村ニテ
信濃川ニ入江川村新津ニ近シ此川ハ舊文
ノ名高シ

能生代川

水上ハ溝川共落合五泉ヨリ十四五町斗

上ニ能生代村古城在此傍ヲ流ル、故ニ川ノ名トス新津村ノ東ヲ過テ末ハ荻島村ニテ小阿賀川ニ入

西川

大河津村ノ前ニテ信濃河ヲ分ケシ役川也流レ下リテ新湊ヨリ二十四五町南ノ関屋村ノ辺ニテ信濃川ニ入信濃川出水ノ時ニハ一川ニモ多ク流レ入テ小舟ノ上下佳常々ハ水枯レテ所々舟不通也又信濃

川ト西川トノ間ノ總号ヲ河中島ト云ヘリ

矢川

麓村ノ南東當リ江溝流レ合テ川ト成弥彦村ノ東ヨリ北東へ流レ楨村ノ辺ニテ西川ニ入石瀬村近迄扁舟通ス又復秋里民四ツ手ト云ヘル細ニテ郷ヲ捕

中之口川

是モ信濃川ノ別レニテ八王子村ト須頃村

スコロ

中間ヨリ流レテ下ハ大野町村ニテ信濃
川ニ入古川水心ハ信濃川ノ増減ニヨル又
須頃村ヨリ燕村ノ當リニテ燕川ト云其
末ニテ中ノ口川ト云其外方々ハ川役在テ
種々ノ名有

河賀川

水上ハ下野國日光山ノ當リヨリ流レ出テ
奥列ヲ歷津川ヲ過山間ヲ流レ蒲原郡ノ
内ヲ通り近年出来レ松崎村ノ新川

口ニテ海ニ入。山中ハ難所多シサレ共津川
近ノ船運送自由好炭薪松杉ノ挽板
材木等毎年積下シ戻リ舟ニ塩ニ魚
脯ノ類其外賣買物積行也

新川口ノ出来サル昔ハ加地川ト落合大
佛村ノ傍ヲ流レ新湊ノ向ヒワタリ信濃
川ト合テ新湊ノ港ニ到リシニ今ハ大ニ
異リ

小河賀

満願寺村ニ本阿賀ヲ別名役川也末ハ
酒屋村ニテ信濃川ニ入

早出川

水上ハ河内谷ヨリ五泉村ニ本木村下条
村ヲ流レ過テ末ハ布目村小浮ノ辺ニテ
阿賀ノ川ニ入

加地川

水上陸奥ヨリ出テ蒲原郡小川庄諏

訪嶺ヲ^{シラケ}歴新登田ノ北東一里斗ニ加地
上^トスヘル郷ヲ流レ下ル故ニ川ノ名トセリ
新登^田ノ近クニ二牧橋ナト過テ末ハ阿賀
ノ川ト落合松カ崎ノ新川口ニテ海ニ入

姫田川

加地九カ村ノ内ヲ流レテ末ハ加地川ニ入

乙川

磐石船郡

水上ハ加治ノ舟ヨリ出テ黒川村ノ近ク籠
村ノ辺ニテタイナ川ト云左右ノ岸ノ岩ノ
指出テ狭キ関ノ所ニ橋ヲ截渡シ樽カ
桶ト称セリ此ヲ流レ過乙村ニ到リテ
乙川ト号レサテ桃崎ノ少シ上ニテ荒川
入

荒川

水上ハ奥列米沢ヨリ五里此方^{ワチヲウケ}藪嶺ヲ
出テ櫻嶺黒沢峠ヲ歴奥列ノ玉川ヲ

過羽越ノ境ヲリカ嶺ヲ通リ関村へ流レ
出箇付村ノセハノ渡リヨリ平林ヲ過テ
桃崎ノ白ヒワタリ塩屋駅ノ傍ニテ海ニ
入沖往来ノ船ヲヨセテ休ム所ニ

アイカ川

村上ノ城下ヲ出行テ程近キ小川也東
南ノ山本ヨリ来ル洪水ノ時ハ涉魚ルサへ
リ村ノ入口也故ニサヘリ川ト云ヘリ末ハ
ト川ニ入

新保川

是モ小川也街道筋也流ル、步行涉

野村川

水上ハ奥羽山ツキヨリ出テ末ハ瀬波ノ
湊ニテ海ニ入。北陸街道筋ニ宮ノ下ニテ
船渡在左ノ山林ノ中ニ社頭在又ヶト川ト
云ヘリ

大川

水上ハ奥羽ノ山続ニ出テ新ヲ流ス川府屋
ノ駅ノ後ヲ流レテ海ニ入府屋ハ根津力関
ノ一里半此方也

